

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	多機能型重症児（者）デイきらめキッズ		
○保護者評価実施期間	2026年 2月 1日		～ 2026年 2月 14日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	9	(回答者数) 7
○従業者評価実施期間	2026年 2月 1日		～ 2026年 2月 14日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	9	(回答者数) 9
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 2月 27日		

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	子どもの障害を十分理解し、子どもの特性に応じた専門性のある支援が受けられる。	楽しく得意なことを中心に興味を持って活動が積極的に行えるように工夫している。	児童発達支援に関する研修を積極的に行い質の向上を図るようとする。
2	事業所の活動プログラムが固定化されないように工夫されている。	活動プログラムが固定化されないように研修を行ったり様々な意見を取り入れるようにしている。	活動内容の質の向上を図り豊かな活動プログラムを作成していく。
3	日ごろから子どもの状況を保護者に伝えあい子どもの健康や発達の状況について共通理解が図られている。	日頃から様々な伝達手段でコミュニケーションを図り保護者の悩みに寄り添い早めに対応するようにしている。	さらに丁寧なコミュニケーションが図られるようにしていく。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされている。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされている。	保護者、兄弟参加のイベントを持ちきょうだいのたくさん参加し好評をいただいている。今後も引き続き保護者、きょうだい参加のイベントを継続しきょうだい支援をしていきたい。	感染症対策をしながらきょうだい参加しやすい内容、場所のイベントを検討開催していく。
2	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明する。また、発生を想定した訓練が実施する。	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定、運用しているが、保護者に周知・説明が十分できていない。	現在策定、運用している各種マニュアルを保護者に周知説明していく。
3	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他の子どもと活動する機会がありますか。	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他の子どもと活動する機会が持てていない。	地域にある公園や施設等を利用し地域のほかの子どもと交流するところから始めていく。